

使い捨て式防じんマスク

取扱説明書

TOYO No.1733-1（半面形 区分：DS2） 国家検定合格番号：第TM484号

■この度は当社製使い捨て式防じんマスクをお買い上げ頂き、お礼申し上げます。

使い捨て式防じんマスクを使用する前にこの説明書を最後まで読んで頂き、充分ご理解の上使用して下さい。

【この説明書は読んだあと大切に保管して下さい。】

■疑問や不明な点がございましたら、右記の当社消費者相談室までご連絡下さい。

■この説明書を紛失した場合も同室までご請求下さい。

【発売元】 **株式会社 トーヨーセフティ**

兵庫県三木市別所町巴21-1 三木工場公園
URL：http://www.toyo-safety.co.jp

消費者相談室 **TEL.0794-83-0155**

日本呼吸用保護具工業会会員

【製造元】 **東洋物産工業株式会社**

【使用範囲】

- ①本品は鉱物性粉じん等、粒子物質を吸入することにより人体に害を及ぼすおそれがある場所で使用する防じんマスクです。
- ②厚生労働省基発第0207006号（平成17年2月7日）「防じんマスクの選択、使用等について」に従い、使用して下さい。

⚠ 危険

防じんマスクは下記の使用範囲を絶対にお守り下さい。
下記の使用範囲を守らないと死亡又は重症に至る可能性が高くなります。

- ①酸素濃度18%未満の環境下では、酸素欠乏の為死亡又は酸素欠乏症になりますので、絶対に使用しないで下さい。
特にタンク、井戸の中等では酸素欠乏症になりやすいので使用しないで下さい。
- ②管理濃度が0.1mg/m³以下の粉じん等を飛散する作業場所で使用できます。
- ③金属ヒューム（溶接ヒュームを含む）を飛散する作業場所等で使用できます。
ただし、オイルミスト等が存在する作業場所では使用しないで下さい。
- ④有毒ガスが存在している場所では、有毒ガスを除去できませんので絶対に使用しないで下さい。
- ⑤環境空気汚染の原因物質が不明な場所では、絶対に使用しないで下さい。
- ⑥粉剤又は乳剤、水和剤等のミスト状の農薬を散布する作業場所等では使用可能ですが、土壌くん蒸剤、土壌消毒用油剤等蒸気が発生する場所では絶対に使用しないで下さい。
- ⑦放射性粉じんが発生する作業、ダイオキシン類の曝露のおそれがある作業、アスベスト作業、吹付塗装作業では絶対に使用しないで下さい。

【使用上の注意事項】

⚠ 警告

防じんマスク本来の機能を発揮するために下記の事項をお守り下さい。
下記の事項を守らないと、死亡もしくは重症に至る可能性が高くなります。

- ①労働衛生に関する知識・経験を有する者を作業場毎に管理責任者に選任し、適正な着用、取扱い方法等について指導を行わせるとともに適正な保守・管理に当たらせて下さい。
- ②使用前に本品が使用用途に適合しているか、確認して下さい。
- ③漏れが生じるので、タオル等を当てた上からマスクを装着しないで下さい。また、ひげ、もみあげ、前髪等がマスクと顔面の間に入り込んだ状態で使用しても漏れが発生します。
- ④面体や部品が変形しますので高温や高熱作業場所での使用は避けて下さい。
- ⑤息が苦しくなった時、粉じんの漏れ込みを感じた時、アレルギー等で皮膚に異常を感じた時、部品が破損した時は、直ちに作業を中止し、安全な場所でマスクを外して下さい。
- ⑥面体に付着した粉じん等の除去の為に、水洗いする、強く叩く、エアーで吹く等必要以上の力を加える行為は絶対にしないで下さい。
(面体が損傷し、機能が発揮できません。)
- ⑦グラインダー作業、溶接作業等で火花、スパッタ等が面体に当たらないようにして下さい。
(面体が損傷し、機能が発揮できなくなり、大変危険です。)
- ⑧面体は乾燥状態で使用して下さい。
- ⑨改造は絶対にしないで下さい。
- ⑩マスクを休憩等の理由により外す場合、マスク内側に粉じんが付着しないように保管して下さい。
- ⑪「耳掛け式」にしないで下さい。「耳掛け式」にすると顔面とマスクの密着度が弱い為、漏れが大きくなり危険です。
また、法律でも禁止されています。

【着用前の点検】

下記のような点に異常が認められた場合は、新しいマスクと交換して下さい。


- ①マスク各部に亀裂、穴あき、著しい変形等がある。
- ②使用限度時間に達している。
- ③使用限度時間内であっても、装着時に著しい息苦しさがある。
- ④マスク及び排気弁に著しく粉じんが付着している。
- ⑤排気弁が正しく付いているか、また弾性は充分保たれているか。
- ⑥しめひもの弾性が十分に保たれていない。
- ⑦ノーズピース、排気弁、排気弁座、しめひも止め具の脱落、損傷がある。

【性能】No.1733-1 防じんマスクのランク：DS2

	防じんマスクの規格(厚生労働省)	社内基準値
粒子捕集効率(NaCl)	95.0%以上	95.0%以上
吸気抵抗	70Pa以下	70Pa以下
排気抵抗	70Pa以下	70Pa以下
吸気抵抗上昇値	—	200Pa以下
二酸化炭素濃度上昇値	1.0%以下	1.0%以下
排気弁の作動気密	15秒以上	15秒以上
使用限度時間	—	16時間
ぬれ抵抗値	—	70Pa以下
重量	—	25g以下

唇の幅(単位:cm)	鼻根おとがい距離(単位:cm)	漏れ率(%)
3.5以上 4.5未満	10.5以上 11.5未満	4.6
3.5以上 4.5未満	11.5以上 12.5未満	5.4
3.5以上 4.5未満	12.5以上 13.5未満	4.2
4.5以上 5.5未満	10.5以上 11.5未満	1.8
4.5以上 5.5未満	11.5以上 12.5未満	2.5
4.5以上 5.5未満	12.5以上 13.5未満	1.4
4.5以上 5.5未満	13.5以上 14.5未満	2.8
5.5以上 6.5未満	11.5以上 12.5未満	1.8
5.5以上 6.5未満	12.5以上 13.5未満	4.6
5.5以上 6.5未満	13.5以上 14.5未満	3.8

【防じんマスクの装着方法】

①商標の印刷があご側になるよう、マスクの上下を確認し、マスクを顔に当てて下さい。		③ノーズピースを押し曲げて鼻部分からの漏れを防止して下さい。	
②左右のしめひもを後頭部で接続して下さい。しめひもが緩い場合は、しめひもの長さを調節して下さい。(調節方法は、下記参照)尚、耳掛け式にしないで下さい。(漏れ率が大きくなり、危険です。)	 	④両手でマスク全体を覆い、息を吐き、空気の漏れを確認して下さい。空気の漏れがある場合はノーズピースを調節し、再度空気の漏れを確認して下さい。	

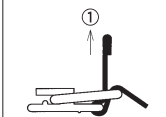
【保管方法】

未使用のマスクは乾燥した清潔な冷暗所に保管して下さい。

【破棄方法】

マスクに付着した有害物質が再飛散ないように袋等に詰めて破棄して下さい。

【しめひもの調節方法】

しめひもを短くする。(きつくする) しめひもの末端を①方向に引っ張れば自由に動きます。	
しめひもを長くする。(ゆるめる) 止め具を①方向に上げた後、しめひもを②方向に引っ張れば自由に動きます。	